

資料

佐々保雄名誉教授の全業績

The list on all achievements of professor emeritus Yasuo Sasa

地徳 力

Tsutomu CHITOKU

穂別町立博物館

Hobetsu Musuem, 80-6, Hobestu, Hokkaido, 054-0211 Japan

(1998 年 2 月 20 日受付)

佐々保雄北海道大学名誉教授の研究論文目録は下河原(1967 編)にまとめられている。しかし、佐々名誉教授は地質学の論文以外の多くの著作も記しているが、当然これにはふれられていない。すでに地徳(1997)が、穂別町立博物館に寄贈された佐々保雄名誉教授の一括資料について報告しているが、未整理として報告できなかった佐々名誉教授の著作についてまとめた。当施設が博物館であることに鑑み、このリストには、地質学以外のもの、研究論文以外のものも併記してある。

なお、佐々文庫中の資料についてはすべて確認したはずであるが、雑誌・新聞などに書かれたものについては、追跡調査できない。これ以外の著作についてご存じの方は、穂別町立博物館にご一報いただきたい。その際に、複写物などをご寄贈いただくと大変に有り難い。

また今後、佐々文庫を基本に、北海道にかかわりのある地質学者の業績について目録化していく予定であるので、ご協力をお願いしたい。

文 献

地徳 力, 1997, 穂別町立博物館に寄贈された佐々保雄名誉教授一括資料について、穂別町立博物館研究報告, no. 13, p. 43-68.

下河原寿男, 1967 編, 佐々保雄教授還暦記念論文集。佐々保雄教授還暦記念記念事業会, 札幌, IV-VI 頁。

業 績 目 録

1930

佐伯四郎・佐々保雄, 1930, 岩手県久慈地方の地質について(摘要)。地質学雑誌, v. 37, p. 313-315.

二高山岳会, 1930, 飯豊山の登路について(概報)。山岳, 25 年, no. 2, p. 269-286. 付図 1.

1931

佐々保雄, 1931, 登山者のための地質学。山岳, 26 年, no. 3, p. 503-596.

1932

佐々保雄, 1932, 北千島に於ける地質学的予察。火山, v. 1, no. 1, p. 53-59, no. 2, p. 46-50.

鈴木 淳・佐々保雄, 1932, 北千島諸島の火山岩に就きて(予報)。火山, v. 1, no. 1, p. 38-44.

佐々保雄, 1932, 北千島幌筵島荒川岳付近の鳴動。火山, v. 1, no. 2, p. 74.

佐々保雄, 1932, 南千島色丹島の地質について(予報)。地質学雑誌, v. 39, p. 345-349.

佐々保雄・八木澤行正, 1932, 東北地方の山岳に関する文献索引。山岳, 27 年, no. 2, p. 1-17.

佐々保雄, 1932, アラスカの石炭と石油。北海道鉱山学会誌, v. 1, p. 341-348, 377-382.

佐々保雄, 1932, 岩手県久慈地方の地質について(その 1-3)。地質学雑誌, v. 39, p. 401-430, 481-501, 552-580.

佐々保雄, 1932, 千島列島関係文献表。山岳, 27 年, no. 3, p. 1-24.

1933

根本忠寛・佐々保雄, 1933, 大樹図幅説明書。北海道地質調査会報告, no. 3, p. 1-36, 3 pls.

長尾 巧・佐々保雄, 1933, 北海道におけるミオグビシナ層の発見。地質学雑誌, v. 40, p. 278-279.

佐々保雄, 1933, 北海道日高山脈に於ける圈谷地形に就

- いて(摘要). 地質学雑誌, v. 40, p. 320-321.
- 佐々保雄, 1933, 樽前統 A 火山灰層の降灰時代. 火山, v. 1, no. 3, p. 60.
- 佐々保雄・今西錦司, 1933, 本邦の氷河問題に関する文献. 山岳, 28年, no. 2, p. 1-10.
- 長尾 巧・佐々保雄, 1933, 北海道西南部の新生代層と最近の地史(1). 地質学雑誌, v. 40, p. 555-577.
- 佐々保雄・村山林治郎, 1933, 積雪期の大雪山曇一特に直井温泉(愛山溪温泉)を中心として. 北大山岳部部報, no. 4, p. 1-26, pl. 1.
- 長尾 巧・佐々保雄, 1933, 北海道西南部の新生代層と最近の地史(2). 地質学雑誌, v. 40, p. 750-775.
- 1934**
- 長尾 巧・佐々保雄, 1934, 北海道西南部の新生代層と最近の地史(3). 地質学雑誌, v. 41, p. 47-60.
- 鈴木 醇・佐々保雄・下斗米俊夫, 1934, 昭和8年12月1日樽前山爆発調査概報. 岩石鉱物鉱床学, v. 11, p. 41-51, 86-97.
- Sasa, Y., 1934, Geomorphology of the Japanese high mountains (3rd report). Glacial topography in the Hidaka mountain range, Hokkaido. *Proc. Imp. Acad., Japan*, v. 10, p. 218-221.
- 長尾 巧・佐々保雄, 1934, 北海道西南部の新生代層と最近の地史(4). 地質学雑誌, v. 41, p. 211-260.
- 佐々保雄, 1934, 日高の圏谷. 月刊山岳雑誌「ケルン」, 昭和9年6月号, p. 未詳.
- 佐々保雄, 1934, 日本高山地形研究第3報, 日高山地に於ける圏谷地形(続報). 地質学雑誌, v. 41, p. 423-424.
- 佐々保雄, 1934, 日本高山地形研究第4報, 本邦高山地域に於ける残雪の諸形態に就いて. 地質学雑誌, v. 41, p. 424.
- 佐々保雄, 1934, 北海道中央高地積雪期登山史抄. 北海道林業会報, p. 未詳.
- Sasa, Y., 1934, A preliminary note on the geology of Sikotan, Southern Tisima (south Kurile islands). *Proc. 5th Pacific Sci. Congress.* p. 2479-2482.
- Sasa, Y., 1934, Geological reconnaissance in the northern Tisima islands (north Kurile islands). *Proc. 5th Pacific Sci. Congress.* p. 2467-2471.
- Suzuki, J. & Sasa, Y., 1934, Volcanic rocks of the northern Tisima islands (north Kurile islands). *Proc. 5th Pacific Sci. Congress.* p. 2473-2477.
- 佐々保雄, 1934, 氷河問題. 地理学年報, v. 2, p. 310-358.
- 1935**
- 佐々保雄, 1935 MS, 氷河問題について. 札幌市郷土科研究部, 講演会要旨, 2 p.
- 佐々保雄, 1935, 日本高山地形研究第9報, 台湾新高山曇の氷蝕地形. 地質学雑誌, v. 42, p. 297-298.
- 佐々保雄・西田彰一, 1935, 北海道東南部新生代層の総合的層序(予報). 地質学雑誌, v. 42, p. 349-350.
- 佐々保雄, 1935, 台湾のアルパムから一次高山前後一山, 昭和10年7月号, p. 334-339.
- 佐々保雄, 1935, 大雪山と日高山脈. 改造, 昭和10年7月号, p. 232-237.
- 吉村豊文・佐々保雄, 1935, 北海道渡島半島におけるマンガン鉱床の一形式(予報). 地質学雑誌, v. 42, p. 615-633.
- 佐々保雄, 1935, チャチャヌプリの初登山者. 日本山岳会会報, 昭和10年12月, p. 3-4.
- 佐々保雄, 1935, 昭和9年度における本邦氷河問題の展望. 地理学年報, v. 3, p. 50-76.
- 1936**
- Sasa, Y., 1936, Geomorphology of the Japanese high mountains (9th report), Glacial topography in the Niitaka massif, Taiwan (Formosa). *Proc. Imp. Acad. Tokyo*, v. 12, p. 16-18.
- 佐々保雄, 1936, 山の地質学. 「山岳講座」, 未詳, 130 p.
- 佐々保雄, 1936, 岩屑片々. 古澤会会報, no. 1, p. 2.
- 佐々保雄, 1936, 北海道新生代層に関する二三の考察. 地質学雑誌, v. 43, p. 465-467.
- 佐々保雄, 1936, 千島・北海道の山. 「山岳講座」, 未詳, p. 269-318.
- 1937**
- 佐々保雄, 1937, 樺太散江郡野頃産マンモス *Elephas primigenius* (BLUM.) 歯化石に就いて. 地質学雑誌, v. 44, p. 368-375, pl. 14.
- 佐々保雄, 1937, 岩屑片々(二). 古澤会会報, no. 4, p. 21.
- 佐々保雄, 1937, 南樺太東部の新第三系, ならびに南北樺太新第三系の対比(講演要旨). 地質学雑誌, v. 44, p. 610-611.
- 佐々保雄, 1937, 日本高山地形研究第15報, 北日本の氷河地形の地質時代に就いて(講演要旨). 地質学雑誌, v. 44, p. 508.

- 佐々保雄, 1937 MS, 渡島石国縫瀬棚地方地質巡検案内書. 18 p.
- 佐々保雄, 1937, 北海道の山山. 北海道倶楽部, 昭和12年7月号, p. 32-40.
- 佐々保雄・西田彰一, 1937, 南樺太東北部沿岸地域の地質に就いて. 地質学雑誌, v. 44, p. 1053-1086.
- 佐々保雄, 1937, 樺太大泊付近の洪積統と象化石の産状. 地質学雑誌, v. 44, p. 777-778.
- 佐々保雄・西田彰一, 1937, 散江及浅瀬地方地質調査報告. 樺太油田調査報告第四号, 74 p.
- 佐々保雄, 1937, 樺太地質学文献目録. 樺太油田調査報告第五号付録, 37 p.
- 1938**
- Sasa, Y. & Tanaka, K., 1938, Glaciated topography in the Kanbo massif, Tyosen (Korea). *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ., ser. IV, v. 4*, p. 193-212, pls. 18, 19.
- 佐々保雄, 1938, 南樺太北東部浅瀬地方地質調査報告, 昭和拾一年度油田地質調査報告(樺太庁油田調査報告第5号). p. 31-80.
- 山崎次男・佐々保雄, 1938, 花粉分析方によりて推定される第三紀末以降の北日本の地理的変遷. 日本学術協会報告, v. 13, p. 346-349.
- 佐々保雄, 1938, 北海道雨竜留萌炭田に於ける各含炭層の層位に就いて. 北海道石炭鉱業会会報, no. 291, p. 1-16.
- 山崎次男・佐々保雄, 1938, 花粉分析による北日本の第三紀末以降の気候試料 2, 3 (講演要旨). 地質学雑誌, v. 45, p. 527.
- 1939**
- 佐々保雄, 1939, 樺太・天測第一号付近(日本の東西南北). 婦人の友, 昭和14年6月, 口絵.
- 佐々保雄, 1939, 北海道下部洪積統・釧路統に就きて. 矢部教授還暦記念論文集, p. 569-587.
- 佐々保雄・井上 武, 1939, 北見国網走町付近の第三系層序(1). 石油技術協会誌, v. 7, p. 418-429.
- 長尾 巧・佐々保雄, 1939, 釧路炭田北部に於ける含炭第三系の層序及び層準(予報). 地質学雑誌, v. 46, p. 392-394.
- 佐々保雄・井上 武, 1939, 北見国網走町付近の第三系層序(2). 石油技術協会誌, v. 7, p. 519-523.
- 佐々保雄, 1939, 北海道十勝国止若付近新油徴地. 石油技術協会誌, v. 7, p. 558-561.
- 佐々保雄・井上 武, 1939, 北見国網走町付近の第三系層序(3). 石油技術協会誌, v. 7, p. 547-557.
- 1940**
- 佐々保雄, 1940, 釧路炭田における第三系の層序とこれに関する従来の諸説(上). 北海道石炭鉱業会会報, no. 307, p. 1-19.
- 佐々保雄, 1940, 釧路炭田における第三系の層序とこれに関する従来の諸説(下). 北海道石炭鉱業会会報, no. 308, p. 20-43.
- 佐々保雄, 1940, 色丹島の地質及び地形. 南千島色丹島誌(アチツク・ミュージアム彙報, no. 47), p. 25-48.
- 1941**
- 佐々保雄, 1941, 釧路炭田における含炭層の分布(予報)(上). 北海道石炭鉱業会会報, no. 319, p. 1-16.
- 佐々保雄, 1941, 地質図における測定に関する1, 2の問題(講演要旨). 地質学雑誌, v. 48, p. 138.
- 佐々保雄, 1941, 釧路炭田における含炭層の分布(予報)(中). 北海道石炭鉱業会会報, no. 320, p. 17-30.
- 佐々保雄, 1941, 釧路炭田における含炭層の分布(予報)(下). 北海道石炭鉱業会会報, no. 321, p. 31-48.
- 佐々保雄, 1941, 地質学におけるノモグラムの応用. 地質学雑誌, v. 48, p. 305.
- 佐々保雄, 1941, 岩屑片々(三). 古潭会会報, no. 15, p. 180.
- 1942**
- 佐々保雄, 1941, クラスノスイによる露領樺太東南部の地質層序と構造並びに之と邦領樺太東北部の地質との関連. 樺太鉱業会誌, v. 13, p. 262-273.
- 佐々保雄, 1942, 岩屑片々(四). 古潭会会報, no. 16, p. 195.
- 佐々保雄, 1942, アリウシヤン列島とその地質および鉱床. 北海道鉱山学会誌, v. 1, p. 142-147.
- 佐々保雄, 1942, 登山者の為の岩石学一. 山と溪谷, no. 73, p. 24-33.
- 佐々保雄, 1942, アリウシヤンと千島(上). 日本山岳会会報, no. 117, p. 1-2.
- 佐々保雄, 1942, 釧路第三系とアラスカ ケナイ第三系の対比に関する問題. 地質学雑誌, v. 49, p. 259.
- 佐々保雄, 1942, アラスカの石炭と石油(1). 北海道鉱山学会誌, v. 1, p. 341-348.
- 佐々保雄, 1942, 登山者の為の岩石学二. 山と溪谷, no.

- 74, p. 30-38.
- 佐々保雄, 1942, アラスカの石炭と石油(2). 北海道鉱山学会誌, v. 1, p. 377-382.
- 佐々保雄, 1942, アリウシヤンと千島(下). 日本山岳学会報, no. 118, p. 5-6.
- 佐々保雄, 1942, 岩屑片々(五). 古潭会会報, no. 18, p. 219.
- 佐々保雄, 1942, 釧路平原下における含炭層の存在—釧路炭田之地質学的研究第6報—. 北海道鉱山学会誌, v. 1, p. 461-484.
- 佐々保雄, 1942, 樺太の地質学の諸問題(特集・北方の自然科学). 樺太, v. 40, p. 30-35.
- 佐々保雄, 1942, 登山者の為の岩石学三. 山と溪谷, no. 76, p. 24-34.
- 佐々保雄, 1942, 北方の地質(特集・北方の科学). 科学朝日, v. 2, 49-52.
- 北海山人, 1942, 鉱山用語集. 北海道鉱業通信, no. 242-257, p. 未詳.
- 佐々保雄, 1942, 地質測量用速算図表(上). 北海道鉱業通信, no. 234?.
- 佐々保雄, 1942, 地質測量用速算図表(中). 北海道鉱業通信, no. 235?.
- 佐々保雄, 1942, 地質測量用速算図表(下). 北海道鉱業通信, no. 236?.
- 1943**
- 佐々保雄, 1943, 登山者の為の岩石学四. 山と溪谷, no. 77, p. 44-48.
- 佐々保雄, 1943, 登山者の為の岩石学五. 山と溪谷, no. 78, p. 20-25.
- 佐々保雄, 1943, 千島列島(1)—北太平洋圏誌(1)—. 地理学, v. 11, p. 323-334.
- 佐々保雄, 1943, 千島列島(2)—北太平洋圏誌(1)—. 地理学, v. 11, p. 447-457.
- 佐々保雄, 1943, 樺太における地質学上の諸問題. 樺太鉱業会誌, v. 14, p. 462-469.
- 佐々保雄, 1943, 千島列島(3)—北太平洋圏誌(1)—. 地理学, v. 11, p. 525-531.
- 佐々保雄, 1943, 千島列島(4)—北太平洋圏誌(1)—. 地理学, v. 11, p. 601-609.
- 佐々保雄, 1943, 北太平洋探検史—主として露人の初期探検. 探検, no. 4, 58 p. (未詳)
- 佐々保雄, 1943, 等高線傾斜尺度表, 地質図等試料(—). 北海道鉱山学会誌, v. 2, no. 10, p. 未詳.
- 佐々保雄, 1943 MS, 断層用語私案. 提出・保存先未詳,
- 25 p.
- 1944**
- 佐々保雄・湊 正雄・北大昭和17年度2年目学生, 1944, 石狩炭田北部の一断面(要旨). 地質学雑誌, v. 51, p. 61-64.
- 佐々保雄, 1944, 地質調査について—炭田や油田の開発には如何なる作業が先立つか—(特集・鉱物—地下資源). 科学知識, 昭和19年12月, p. 27-33.
- 1947**
- 佐々保雄, 1947, 鉱区問題について. 技術と社会, no. 3-4, p. 13-16.
- 1948**
- 佐々保雄, 1948, 天北炭田地質概観(講演要旨). 炭鉱技術, v. 3, no. 11, p. 14-18.
- 1949**
- 佐々保雄, 1949, 本道炭田の特性と開発. 月刊北海経済新報, 昭和24年1月, p. 27-28.
- 1950**
- 佐々保雄, 1950, 北海道天北地域の形成(要旨). 地質学雑誌, v. 56, p. 306-307.
- 佐々保雄, 1950, 北海道の炭田(1). 北海道地質要報, no. 15, p. 13-22.
- 佐々保雄, 1950, 北海道のチエネー博士(メタセコイア特集). 北方林業, no. 21, p. 208-209.
- 1951**
- チエニイ, R. C.・佐々保雄, 1951, 生きている化石メタセコイアの話. 炭鉱技術, v. 6, p. 1-6.
- 佐々保雄・森谷虎彦, 北海道石狩国野幌丘陵の地質. 石油技術協会誌, v. 16, no. 5, p. 236-未詳.
- 佐々保雄, 1951, 石狩炭田における断層系統(講演要旨). 地質学雑誌, v. 57, p. 297.
- 佐々保雄, 1951, 北海道の炭田(2). 北海道地質要報, no. 17, p. 13-19.
- 佐々保雄, 1951, 炭鉱におけるガス採取と利用. 北海道石炭研究懇話会記事, no. 1, p. 7-8.
- 1952**
- 佐々保雄, 1952, 北海道における炭層の堆積状態の2・3について. 地質学雑誌, v. 58, p. 326.

- 佐々保雄・林 一郎, 1952, 釧路炭田東部における白亜系の層序と先第三系変動の様式. 地質学雑誌, v. 58, p. 292.
- 佐々保雄, 1952, 九州炭田地質見学記(1). 炭鉱技術, v. 7, no. 8, p. 未詳.
- 佐々保雄, 1952, 北海道の地質及び地下資源(北海道現勢図譜解説書). 北海道科学技術連盟. 頁未詳.
- 佐々保雄・根本忠寛・橋本 巨・松沢太郎, 1952, 北海道地質図(60万分の1). 北海道総合開発委員会.
- 佐々保雄・林 一郎・西田隆夫, 1952 MS, 北海道釧路炭田仙鳳趾地区地質調査報告, 未詳.

## 1953

- 佐々保雄ほか, 1953, 幌内層に関する諸問題(討論)―特に最近の矢部教授の諸説を中心として―. 石炭地質研究, no. 4, 14 p. 未詳
- 佐々保雄, 1953, 釧路炭田に関する地質学的諸問題(講演要旨). 地質学雑誌, v. 59, p. 347.
- 佐々保雄, 1953, 北海道および九州両炭田の自然条件の比較. 炭鉱技術, v. 7, no. 10, 4 p. 未詳.
- 佐々保雄, 1953, 釧路炭田―北海道炭田誌(2). 石炭協会北海道支部, 160 p.

## 1954

- 佐々保雄, 1954, 地層と炭層(講演要旨). 地質学雑誌, v. 60, p. 279.
- 佐々保雄, 1954, 釧路市春採におけるズリ山の十勝沖地震による崩壊について. 十勝沖地震調査報告, p. 261-271.
- 佐々保雄, 1954, 新冠泥火山とその十勝沖地震による変動. 十勝沖地震調査報告, p. 243-259.
- 佐々保雄, 1954, 男鹿半島寒風山における構造土. 地質学雑誌, v. 60, p. 533-534.
- 佐々保雄・井口休夫・渡辺健二, 1954 MS, 北海道天塩国幌延村安牛石油鉱区地質概査報告. 12 p.

## 1955

- 佐々保雄, 1955, 新冠泥火山について. 日本地質学会北海道支部, 1954年10月例会講演要旨. 北海道地質要報, no. 28, p. 27.
- 佐々保雄, 森谷虎彦, 1955 MS, 士幌線66軒付近地帯地帯に関する所見. 提出・保存先未詳. 7 p. +2 pls.
- 佐々保雄, 1955, 石炭をつくる植物(2)第三編石炭地質. 炭鉱, v. 9, no. 2, p. 29-32.
- 佐々保雄, 1955, 北海道天塩国中川郡中川村歌内, 宇土

内川における蛇紋岩中の石油兆候. 石油技術協会誌, v. 20, p. 28-33.

- 佐々保雄, 1955, 石炭をつくる植物(4)第三編石炭地質. 炭鉱, v. 9, no. 4, p. 30-32.
- 佐々保雄, 1955, 海底地質調査用としての「くろしお号」. 石油技術協会誌, v. 20, p. 92-100.
- 佐々保雄・佐藤誠司, 1955, 石炭の花粉分析に関する2, 3の吟味―羽幌夾炭層本層を例にとつて―. 地質学雑誌, v. 61, p. 319.
- 佐々保雄ほか, 1955, 帯広盆地及びその周辺の地質第1報―第三系層序―. 地質学雑誌, v. 61, p. 333.
- 佐々保雄, 1955, 津軽海峡西南部両岸の地質とその対比. 北海道地質要報, no. 30, p. 32.
- 佐々保雄, 1955 MS, 津軽海峡西部両岸および海峡部の地質概要―プリンタフ研究グループ巡検案内に代えて―. 提出・保存先未詳, 25 p. +付図.
- 佐々保雄ほか, 1955, 北海道石油鉱業の現状と将来. 北海道鉱業振興委員会, 88 p.
- 佐々保雄, 1955 MS, 盤の沢地域における石炭鉱区とダム湛水区域との関係にたいする所見. 提出・保存先未詳, 17 p. +3 tabs. +3 pls.
- 佐々保雄・岡崎由夫・吉田三郎, 1955 MS, 釧路石阿寒郡阿寒村飽別日野泰治氏出願鉱区地質調査報告. 提出・保存先未詳, 13 p. +付図.
- 佐々保雄・高柳良直・新谷邦夫, 1955 MS, 北海道幾春別川支流盤の沢中流区域地質調査報告. 提出・保存先未詳, 13 p. +2 pls.
- 佐々保雄・渡辺健二・石井次郎, 1955, 留萌郡小平村達布地帯地帯調査報告. 寒帯林, no. 49, 1-12 p.

## 1956

- 井口休夫・佐々保雄, 1956, 野幌亜炭の花粉分析. 日本地質学会北海道支部 1955年2月例会講演要旨, 北海道地質要報, no. 31.
- 橋本 巨ほか, 1956, 北海道中生界研究の現段階(講演要旨). 地質学雑誌, v. 62, p. 357.
- 佐々保雄, 1956, 日本における白亜系・第三系境界問題. 未詳.
- 佐々保雄, 1956, 北海道古第三系に関する諸問題. 有孔虫, no. 6, p. 1-22.
- 渡辺健二・佐々保雄, 1956, 羽幌地方の泥質岩について. 日本地質学会北海道支部, 1955年6月支部例会要旨, 北海道地質要報, no. 33.

## 1957

- 佐々保雄, 1957, 色丹列島の地質. 日本地質学会北海道支部 1956 年 2 月支部例会講演要旨, 北海道地質要報, no. 34, p. 28-29.
- 佐々保雄, 1957, 津軽海峡西口の海底地質. 日本地質学会北海道支部 1955 年 12 月支部例会講演要旨, 北海道地質要報, no. 34, p. 27-28.
- 佐々保雄, 1957, 北海道厚岸湖牡蠣礁における一観察. 北海道地質要報, no. 35, p. 22-23.
- 1958**
- 佐々保雄・柴岡道夫, 1958 MS, 日鉄美唄 1 号試錐所見. 提出・保存先未詳, 5 p. +1 pl.
- 佐々保雄, 1958 MS, 墨国, 北米合衆国及び欧州視察概要報告. 提出・保存先未詳, 26 p.
- 1959**
- 佐々保雄ほか, 1959, 北海道における白亜系と第三系との境界. 地質学雑誌, v. 65, p. 423-424.
- 佐々保雄, 1959, 滝川林務所北樺戸事業区泥川溜池ノ池地帯区域地質調査報告. 未詳.
- 1960**
- 佐々保雄, 1960 MS, 地帯り, 道林務部地帯り講習会要旨. 保存先未詳, 12 p.
- 佐々保雄, 1960 MS, 神居古潭清トンネルの地質調査に関する所見. 提出・保存先未詳, 4 p.
- 佐々保雄, 1960, 日高の圈谷. 北海道の山, 昭和 35 年 7 月, p. 52-56.
- 佐々保雄, 1960, 釧路産セイウチの化石. 釧路市立郷土博物館館報, no. 105, p. 34-36.
- 1961**
- 佐々保雄・伊崎 晃, 1961, 津軽海峡西口付近の音波探査とその成果(1). 地学雑誌, v. 70, p. 3-18.
- 佐々保雄, 1961, 自然の観察(1)砂浜の小石. 釧路市立郷土博物館館報, no. 110, p. 76-77.
- 佐々保雄, 1961 MS, 青函トンネルは果たして掘れるか?. 昭和 36 年 4 月 28 日炭鉱技術会特別講演要旨, 2 p., 1 pl.
- 佐々保雄・伊崎 晃, 1961, 津軽海峡西口付近の音波探査とその成果(2). 地学雑誌, v. 70, p. 181-192.
- 佐々保雄, 1961 MS, 羽幌町三毛別ダム付近鉱区禁止申請区域に関する地質学的所見. 提出・保存先未詳, 4 p.
- 佐々保雄・岡崎由夫, 1961 MS, 釧路地方建造材資源調査第 1 回中間報告. 提出・保存先未詳, 5 p.
- Chaney, R. W. & Sasa, y., 1961, The comparison of tertiary floras of Japan and western North America. *Proc. 9th Pac. Sci. Cong.*, 1957, v. 12, p. 273-275.
- Sasa, Y. & Durham, W., 1961, Paleogene Tertiary correlation of northern Pacific basin. *Proc. 9th Pac. Sci. Congress, 1957*, v. 12, p. unknown.
- 1962**
- Sasa, Y. & Izaki, A., 1962, Submarine geology of the Tsugaru straits. *Proc. Japan Acad.*, v. 38, p. 120-123.
- 佐々保雄, 1962, 日本における航空写真地質学. 日本地質学会, 地質学の諸問題, no. 2, p. 55-57.
- 佐々保雄, 1962, 北海道地質図変遷史(一). 北方文化研究報告, no. 17, p. 1-38.
- 佐々保雄, 1962, いわゆる鉱区問題について—「鉱域」の提唱—. 炭鉱技術, v. 17, p. 未詳.
- 佐々保雄・佐藤 進, 1962, 釧路沖第 2 漁礁付近の黒潮号による海底地質観察の所見. 提出・保存先未詳, 3 p.
- 佐々保雄・佐藤誠司, 1962 MS, 昭和 37 年度理科実験講座高校地学テキスト I 地質調査と地質図. 提出・保存先未詳, 30 p. +付図.
- 佐々保雄, 1962, 津軽海峡地質調査の仕上げは船上試錐で. 提出・保存先未詳, 3 p.
- 佐々保雄, 1962 MS, 礼文島尺忍地帯の地質学的所見. 7 p.
- 佐々保雄, 1962, 鉱区問題とその対策. 北海道石炭労働組合, 18 p. 未詳.
- 佐々保雄, 1962, 北海道の自然—図説日本文化地理体系一, v. 17, 北海道. 小学館, 頁未詳.
- 1963**
- 佐々保雄, 1963, 青函トンネル所感. 掲載未詳.
- 佐々保雄, 1963 MS, 北海道の地帯りについて. 土質工学会北海道支部講演要旨, 11 p.
- 佐々保雄, 1963 MS, 道々霧多布厚岸線厚岸郡厚岸町字ピリカウタ地内道路災害復旧工事について. 提出・保存先未詳, 4 p.
- 岡崎由夫・佐々保雄・佐藤 茂・長浜春夫, 1963, 北海道釧路層群に関する 2・3 の問題, 特にその層序と偽層(講演要旨). 地質学雑誌, v. 69, p. 327.
- 佐々保雄・岡崎由夫, 1963, 釧路・根室地方の建造資材

第1報—昭和36年度調査—。産炭地振興事業団，35 p.

佐々保雄・下河原寿男，1963，炭田における断層の研究，I. 断層存在の判定法。北海道炭鉱技術会断層研究委員会報告，no. 1，17 p.

佐々保雄・佐々木敏夫・城戸欣也，1963 MS，北海道渡島支庁乙部村豊浜地区地迂りに関する地質学的所見。北海道開発庁，地迂り調査委員会資料，未詳。

佐々保雄・佐藤進・藤原久次郎・東保，1963，海洋掘削船について—特に米国における現状—。日本鉱業会，昭和38年度合同秋季大会分科研究会資料，p. 28-30.

#### 1964

佐々保雄，1964，北海道の地迂りについて（上）—特に地質学的な見地から—。応用地質，v. 5，p. 19-30.

佐々保雄，1964 MS，八雲町八雲養鱒場内温泉試掘所見。提出・保存先未詳，4 p.

佐々保雄・藤原久次郎，1964，本邦最初の海洋掘削船「第1探海」号。石油技術協会大会講演要旨，p. 1-6.

佐々保雄，1964，北海道地質図変遷史(二)。北方文化研究報告，no. 19，p. 23-58.

佐々保雄，1964，幌内＝石狩問題の帰すう（講演要旨）。地質学雑誌，v. 70，p. 404.

佐々保雄，1964，困難は克服できる＝青函トンネル青森側の着工にあたって＝。北海タイムス，昭和39年8月2日。

佐々保雄，1964，炭田深部探査。全国鉱業大会分科研究会資料，p. 2-4.

佐々保雄，1964，地質学的に見た北海道の地迂り。第1回災害科学総合講演会講演要旨，p. 40-42.

佐々保雄，1964，資料センターをつくれ＝新潟地震が教えたもの＝。北海道建設新聞，開発論壇，昭和39年10月7日。

佐々保雄，1964，よみがえった「おしよろ丸」。北海道新聞，昭和39年11月2日。

佐々保雄，1964，軍艦岬のことなど—半世紀前のこのあたり—。月刊さつぽろ，昭和39年12月，p. 18-22.

#### 1965

佐々保雄・田中啓策・秦光男，1965，5万分の1地質図幅説明書「夕張」および同説明書。北海道開発庁，184+14 p.

佐々保雄・棚井敏雅，1965 MS，恵庭町漁川油徴地所見。

提出・保存先未詳，3 p. +1 pl.

佐藤茂・佐々保雄・岡崎由夫・長浜春夫，1965，釧路炭田東部古第三系の斜層理からみた古流系。地質学雑誌，v. 71，p. 373.

佐々保雄，1965，北海道における2～3の地迂りの地質学的考察。第2回災害科学総合講演会講演要旨，4 p.

佐々保雄，1965，北海道地質図変遷史(三)。北方文化研究報告，no. 20，p. 153-221.

#### 1966

佐々保雄，1966，炭田の生成—石狩炭田を例にとつて—。燃料協会誌，v. 45，p. 824-832.

Sasa, Y. & Izaki, A., 1966, Submarine geology of the Tsugaru straits. *Japan Railway Construction Corporation*, 1966, 4 p.

佐々保雄・棚井敏雅・佐藤誠司・柴岡道夫，1966，石狩炭田の生成。「石炭の堆積環境」日本鉱山地質学会昭和41年度研究討論会資料，15 p.

#### 1967

佐々保雄・岡崎由夫，1967，北海道太平洋沿岸産セイウチ化石。早坂一郎先生喜寿記念論文集，p. 181-184，pl. 8.

佐藤茂・佐々保雄・広川治・岡崎由夫・長浜春夫，1967，釧路市東部付近に見られる古第三系の古流系。地質学雑誌，v. 73，p. 563-572，2 pls.

#### 1968

佐々保雄ほか，1968，北海道の石油・天然ガスの探査と開発。北海道鉱業振興委員会，183 p.

北海道大学理学部地質学鉱物学教室，1968，北海道災害地の地質学的調査。1968年十勝沖地震調査報告，p. 103-186.

#### 1969

天然ガス鉱業会，1969，（座談会）北海道の石油・天然ガスを語る。天然ガス鉱業会，20 p.

佐々保雄，1969，津軽海峡（西口）の海底地質I—青函トンネル計画のために—。科学，v. 39，p. 70-78.

佐々保雄，1969，津軽海峡（西口）の海底地質II—青函トンネル計画のために—。科学，v. 39，p. 376-384.

外崎与之・佐々保雄，1969，北海道吉岡付近海底の国縫層を貫く花崗岩岩脈—青函トンネル吉岡B 7-4

試錐コア試料一. 地質学雑誌, v. 75, p. 549-550.

## 1970

- 佐々保雄・外崎与之, 1970, 青函トンネルの試錐コアより得られた新事実. 地理学評論, v. 43, p. 50-52.  
 佐々保雄, 1970, 北海道石炭鉱業の将来. 燃料協会誌, v. 49, p. 55-56.  
 佐々保雄, 1970, 美しい日本は世界の宝—シエラ・クラブに学んだこと. 婦人の友, 1970年5月, p. 116-118.

## 1972

- 岡崎由夫・佐々保雄・鈴木順雄・伊藤俊彦, 1972, 北海道釧路・阿寒町知茶布産のデスマスチルス臼歯について. 釧路論集, no. 3, p. 75-86.  
 佐々保雄, 1972, 津軽海峡(西口)の海底地質Ⅲ—青函トンネル計画のために—. 科学, v. 42, p. 40-50.

## 1973

- 佐々保雄, 1973 MS, 住鉱コンサルタント K. K. 提出空中磁気探査報告書(昭和47年)を読んで. 提出・保存先未詳, 9 p.

## 1976

- 佐々保雄, 1976, 青函トンネル. 林業技術, no. 4, p. 28-29.  
 佐々保雄, 1976, 青函トンネル. 林業技術, no. 5, p. 26-27.

## 1977

- 佐々保雄, 1977 MS, 青函トンネルのある日. メモ, 22 p.

## 1978

- 大我晴敏, 1978, 空中写真を見るのは, 僕の Hobby=佐々保雄先生=. 写真測量とリモートセンシング, v. 17, p. 33-35.

## 1979

- 佐々保雄, 1979, 部と私と. 北大山岳部五十周年記念号, p. 389-391.

## 1980

- 佐々保雄, 1980, シベリアの活断層?—実は飛行機雲の影—. 測量, 1980年6月, p. 未詳.

## 1981

- 佐々保雄, 1981, 地学と環境教育. 科学教育研究, v. 5, p. 85-87.  
 佐々保雄, 1981, 七十三歳でヒマラヤ登り. 尚志会報, no. 11, p. 未詳.  
 佐々保雄, 1981, 青函トンネル問答(特別講義要約). 国土建設学院学報, no. 9, p. 2-3.

## 1984

- 佐々保雄, 1984, 青函・日韓・ドーバー(その1). 写真測量とリモートセンシング, v. 23, p. 12-20.  
 佐々保雄, 1984, 青函・日韓・ドーバー(その2). 写真測量とリモートセンシング, v. 23, p. 40-45.  
 佐々保雄, 1984, 青函トンネルのある日(Ⅰ)—トンネル外史(Ⅰ)—. 日韓トンネル研究, no. 1, p. 150-154.  
 佐々保雄, 1984, 地図博物館—ある夢—. 学鏡, v. 81, p. 12-15.  
 佐々保雄, 1984, そのころ. 旧制中学物語, さつぼろ文庫, 札幌教育委員会, p. 192-194.  
 佐々保雄, 1984, アリウシヤンの一夏(続). ILT News, no. 76, p. 63-70.  
 佐々保雄, 1984, アリウシヤンの一夏. 早稲田大学語学教育研究所紀要, no. 29, p. 115-121.

## 1985

- 佐々保雄, 1985, 青函トンネルのある日(Ⅱ)—青函トンネル外史—. 日韓トンネル研究, no. 2, p. 166-173.

## 発表年月日不詳

- 佐々保雄, 発表年未詳, その後の青函トンネル計画. 掲載不詳.  
 佐々保雄, 発表年未詳, 昭和の初め頃. 掲載不詳.  
 佐々保雄, 発表年未詳手稿, 地層の話. 用途不詳.  
 佐々保雄・桂ゆき・沢村裕・広崎芳次, 発表年未詳, 海の魅力(座談会). 掲載不詳.